

# ポストトレード効率化で 業務改善と 資金効率向上を図る

ポストトレード



## 課題

### オペレーショナル・リスク

従来型システムにおいては取引関係者ごとに取引データが管理されており、データ不一致などによる決済遅延リスクが高い

### 未決済リスク

約定から決済まで2営業日かかる事に伴い多額の決済用担保が必要

## 解決策

### データ連携基盤を構築

取引関係者で共有される取引データを常に一致させる  
データ連携プラットフォームを構築

### 決済サイクルの短縮

データ突合が不要になる事に伴い  
決済期間を翌日(T+1)さらには当日(T+0)に短縮

## 効果

### T+0の実現

突合作業を必要としないため、約定と同時に決済を行う事も可能に

### 資金効率の向上

約定から決済までの期間を短くすることにより、  
待機資金を大幅に減らすことが可能になる

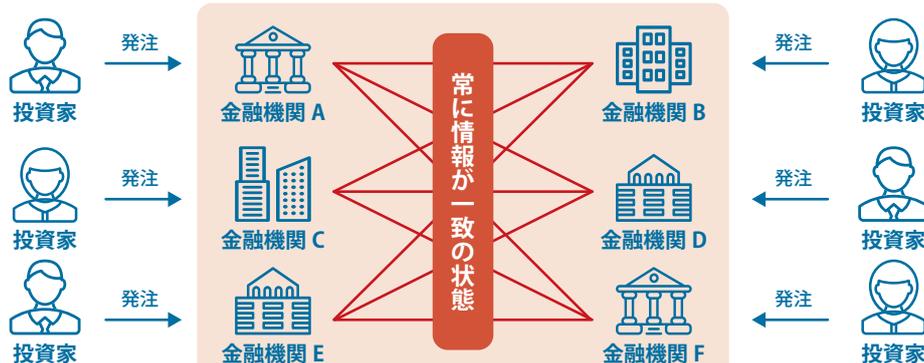
### コストの低減

突合作業を始めとするバックオフィス業務が効率化  
されることにより、業務コストの低減を図ることが可能に

## スキーム

ポストトレード効率化でコスト低減と資金効率向上を図る

### 約定決済情報を自動的に照合



T+0の実現へ